

## ふじのくにグローバル人材育成事業 報告書

参加した コース	ふじのくに地域探究コース (観光交流促進コース)		訪問国	アメリカ合衆国	
学校名	静岡雙葉高等学校	氏名	東 すみれ	学年	2年

### 〈留学計画の概要〉

留学先:アメリカ合衆国、ハワイ州

期間 :7/14~8/3 (3週間)

### 〈留学のきっかけ〉

私は高校1年生の夏に学校のプログラムでイギリスを訪れたことをきっかけに、海外や留学に興味を持つようになりました。イギリス研修では、観光地へ行く前に先生やガイドさんに文化や歴史を教えていただいたことで、ただ観光するだけでは分からないその場所の魅力に気づくことができ、観光の楽しさが何倍にも広がったように感じました。この経験から、知識や工夫によって観光体験の価値が大きく変わることに気づき、観光業に興味を持ちました。そしてトビタテでの留学を通してさらに深めたいと考えるようになりました。

### 〈テーマ〉

静岡県で持続可能な観光業発展を目指す！

### 〈テーマ設定の背景〉

訪日外国人観光客が急増している今、日本の魅力を沢山の方に知ってもらえたことを喜ばしく思う一方、観光客と地域社会の摩擦もよく耳にします。今のままでは地域社会に悪影響を及ぼすだけでなく、せっかく日本に来てくれた観光客の方にも日本の魅力が伝わらないのではないかと考え、解決すべき課題であると感じています。そこで私は、観光客、観光事業者、地域住民の三者が共存した、持続可能な観光業を目指したいとと考え、このテーマを設定しました。

### 〈ハワイの観光地〉



▲カメハメハ大王像



▲ダイヤモンドヘッドからのワイキキの街並み

## 〈探究活動〉

### 1. ハワイ州観光局への訪問

ハワイ州観光局への訪問は、実際にハワイの観光業に関わる方からお話を聞ける貴重な機会でした。

#### ・レスポンシブルツーリズム（責任ある観光）

レスポンシブルツーリズムとはハワイがコロナ禍に始めた取り組みであり、観光客が観光地を訪れる際、地域社会や環境を思いやり、配慮することを心がけるというものです。これを実践しはじめたことにより観光客が増え過ぎてしまったことによりずっと下降傾向であったハワイの、地元住民の観光業への満足度が初めて上昇したということをお聞きし、観光客に地域社会や環境保護への責任を持って旅行してもらうことが大切だと分かった。

その他にも静岡にも応用できそうな、観光客に地域社会に対して配慮してもらうための方法が沢山ありました。

- ・ダイヤモンドヘッドの事前予約制&観光客のみ入場料が必要→オーバーツーリズム対策
- ・ホテルに必ず1人文化を伝えるカルチャーアドバイザーがいる→文化継承→地域保全
- ・ウミガメや珊瑚礁保護のための日焼け止めの成分制限→環境保護
- ・観光客参加型ボランティアプログラム→環境保護

### 2. 観光地でのインタビュー

観光地で観光客と地元住民に対してアンケートを行った。観光客へのアンケートでの、ハワイを旅行先に選んだ理由ではほとんどの人が海や自然などを挙げており、旅行先を選ぶ際に観光資源というものが大きく影響していることがわかった。また、地元住民へのアンケートでのハワイはオーバーツーリズムが起きていると思いますか？という質問にはほとんどの人がいいえと回答しており、観光地としてずっと人気で、観光客が多くいるのが当たり前なハワイでは観光客を受け入れる姿勢が地域に根付いているのではないかと考えました。

## 〈留学を通して考えたこと〉

今回留学を通し、持続可能な観光業を実現するためには歴史や文化を正しく伝え、理解してもらうと同時に地域のルールや自然環境を守る取り組みを促すことで、観光客と地域社会の摩擦を減らすことが重要であることがわかりました。また、日本人にも経済効果だけでなく、異文化交流などの観光の価値を伝え、観光客を受け入れる広い姿勢を持ってもらうことが重要であると考えました。これらのことを実現するのは難しいけれど、今回の留学で学んだことを活かして、将来に繋げ、いつかは静岡で持続可能な観光業の実現をしたいです。

語学学校や探究活動など全てを1人で計画し、行動するのは大変だったし、不安に感じることも多くあったけれどそれを乗り越えた先には大きな達成感と自分への自信を得ることができました。留学での体験や思い出を一生の宝にして、これからも頑張っていきます！

